

(雜 錄)

○滋養價を異にせる飼料にて飼育せる蠶蟲の成果○ホ、ジロの卵の斑

二二

酸素の量に對して、一定の酸化度があるらしく思はれる。換言すれば此の發光に對する酸素の量には最良極限があつて、酸素が全く無くなれば勿論發光しないが、又酸素が多量に過ぎてても不良である。これ等の關係を尙一層定量的に決定してみたいと思つて、私は正確な側壓器を注文中である。兎に角正確な實驗の上でなければ分らないがこの材料の發光に對して酸素の量には最良極限があるらしく思ふ。勿論その最少量極限は絶対に酸素のない極點で、最大量極限は百分の酸素の量であるが、この材料の發光には水が絶対に必要だから、假りに水は極少量であるにしても、水と酸素が併存する以上は、酸素の量が百分に達することはない譯である。この關係を圖に表すと明瞭になると思ふ。

(大正九—二・二三)

(神田左京)

●滋養價を異にせる飼料にて飼育せる蠶蟲の成果

農學博士平澤英吉「朝摘及夕摘桑葉ノ飼料的價值ニ就テ」『蠶業試驗場報告』第三卷第六號三二—三三五頁大正七年九月

從來夕摘桑葉は朝摘桑葉に比較し滋養價大なるを以て夕摘の方合理的なりと信じられ居たりしかど、從來の研究は單に桑葉の特殊成分を分析したるに止まり其の他には及ばざりき。著者は更に進みて朝摘葉と夕摘葉とを以

て蠶兒を飼育し、蠶の營養に及ぼす關係を調査し、其飼料的價値の差異を闡明せんとせり。其の結果を摘録すれば次の如し。

夕摘桑葉は朝摘桑葉に比し炭水化物、脂油等のエネルギー原質に富む。是を攝取したる蠶兒の體質も亦同様の差あり。然れども食桑中並に眠起の經過、絹質物の生産、繭絲の性質等は兩者に差異を認めず。故に絲繭用飼料としての價値は摘採時刻に依りて差異なきものと見做すことを得べし。

(石川金太郎)

●ホ、ジロの卵の斑

挿圖の卵は、飛驒産ホ、ジロ五羽の所産である。上列向つて右より第二迄、下列同第二迄の四顆は、同一巢内六顆中より得しもの。假に甲例と名づけん。次に上列右より第三、下列同第三は、他の同一巢内五顆中より獲しもの。暫く乙例と名づけん。更に上列第四、下列第四は又他の同一巢内四顆中の二顆。之を丙例とせん。下列左端は、更に他巢内三顆中の一である。之を丁例とせん。

甲例は六顆とも斑條が大同小異であつたが、就中、圖の上列第二のが其斑著しく太い。而して大さが他の三例よりも稍太い。乙例は斑條が太き一端にのみ集中してゐるのが特色である。同巢五顆とも大同小異の斑條であつた。丙例は斑點のみで線が殆んど認められず、且つ斑點の數も至つて少いのが特色で四顆も大同小異である。丁